

陳翰笙先生

四月十三日附と五月四日附の市
手紙並びに論文は有難く頂戴いた
しまいた。

紙底まこにはてり
元々リナ常の國へな
械機あり致非、オ貴も未
かで今まと備出する。
医師会規定ま林一盟事行ます。
協定豫載私申同の宣ゲ
極了掲載と蘇登で上
てす。は。に出身し
てす。中に自申
りまめ私び
が翻訳りまのす。に
か出来あリ數たて詫
多忙は内まこと
私訪いこ

お送り下さいま
eure dawes lives" 1 視りな 1 はあ
讀 ておりた話のに沿も
拝訪へ 1 サモ日には本私のた
型に

日本ではこの処方をする事は従来用いたり。といふのは処方に来て私は日が暮れまではまだあります。
 中国漢葉加日本では入手出でてこ日もあります。
 かうの正常化のものが、一日もあります。
 中國交の痛感するものであります。
 私は貴志の三月号、"What Chinese
 Scientists are doing" を興味深く翻
 訳いたしまいた。全文を抄録思
 いながら又たせ。中醫医学
 を何かに掲載させたことは幸いです。
 私が如何なる人物かは尋ね下さ
 余るまでもない。身の土、筆
 は貴夢に中國へ
 上でお会いの貴の建設の方々の事を
 うれしく思ふ。大下

藤間嘉雄
Y. Thoma.

日蘇親善協会常任理事
新日本医師協会幹事
法政大学教授(化学系)

Mr. Y. Phoma.
134, 3-chome, Den-en-chofu,
Ota-Ku, Tokyo, Japan.

Mr. Chen Han-seung.
To "China Reconstructs"
52c, wai chiao Pu chieh.
Peking, China

中華人民共和國
北京市外交部街52号丙
中國建設雜誌社內
陳翰笙先生



VIA AIR MAIL

日本
東京都
大田区田園調布
三一三四
幕間吉雄



S¹
13/A 1956.

